

萬葉集略解

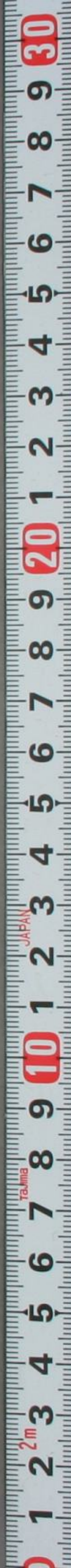
十七下

柳田文庫

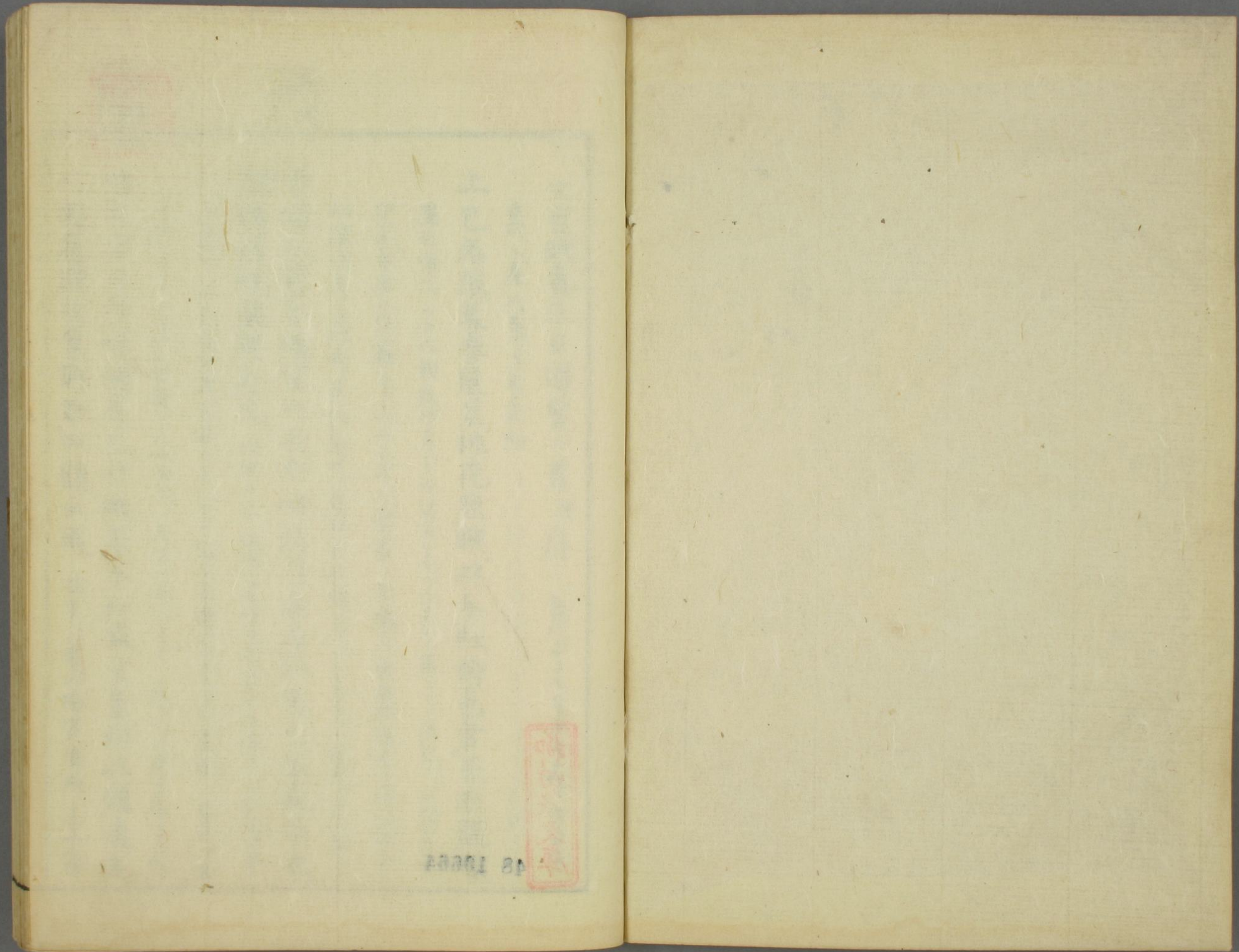
文庫11

A104

26







18 10000





文庫11  
A 104  
26

柳田泉文庫

48 10664



七言晚春三日遊覽一首并序

の式、唐人のさくまゝなり

上巳名辰暮春麗景桃花照臉以分紅柳色含苔而競綠

漢禮儀志上巳禊飲の事云ゆは三月と用る上巳といひあら

つる名辰は佳節なり三月三日と用る上巳といひあら

松浦河原に柳葉於眉中發桃花於額上と云くは三月三日と用る上巳といひあら

酒ヲ須

于時也携手曠望江河之畔訪酒過野客之家既而也

とるりたる人遇之應を遇と云ふは是も誤り過の字たる人葉契ハ易の如象

の語よりよく同心の契なり和光ハ老子の語なりハ友との契なりこれハ

嗟乎今日所恨德星已少歟若不如寂含章何以攄逍遙

之趣忽課短筆聊勒四韻云爾 徒呈八音の陳寔荀淋といふ人の

道ヲ趙



あつちて、賢者の身ふるふ人、家持の二人、おんをあらわすうて、己サと恨  
といふ、和寂ハ陸機ガ文賦ニ、和寂莫而求音といふより、去てひねり出  
さく、道遠之趣、へん、樂しむんといふ、道と趣と、

餘春媚日宜、怜賞上已、风光足、覽遊柳陌、臨江、緝、袿服、桃  
源、通海、泛仙舟、雲壘酌桂、三、清、湛、羽爵、催人、九、曲、流、縱、醉  
陶心、忘彼我、酩酊無處、不、淹、留、  
俗春ハ後春といふこと、朔日ハうつくし

よまねといふ、俗ハ注文ニ、繁采色也といふ、袿服ハ文選、注ニ、謂威服也といふ、  
桃源ハ、西より仙境といふこと、雲壘ハ、酒壘、之、詩の金壘の注にも、雲壘の  
象より、いゆ、酌桂ハ、謝惠連の雪賦ニ、酌桂酒といふ、三、清、ハ、周礼の天官酒  
正ニ、辨、三、酒、之、物、と、三、曰、清、酒、といふ、よ、ま、ね、の、又、三、月、の、百、の、清、明、と、い  
ふ、い、つ、の、羽、爵、ハ、お、の、羽、觴、と、いふ、同、ハ、九、曲、流、ハ、く、あ、く、ま、ま、流、れ、の、おも、  
杯のれ、ハ、酒、の、こ、り、ま、る、と、ま、る、陶、心、ハ、陶、ハ、和、樂、類、と、も、詩、の、ほ、ん、と、忘、彼

我ハ、宿、主、の、わ、ち、い、さ、く、か、け、つ、る、は、信、句、ハ、こ、が、こ、ま、う、つ、の、延、と、極、と、極、

三月四日大伴宿禰池主のこころに池よりおぼえよと云、標より

昨日述短懐、今朝汗耳目、更承賜書、且奉不次、死罪、謹言、

昨日ハ、四日のすまゝ、三百述、次、の、詩、と、他、ハ、い、ふ、れ、と、五、日、乾、好、ハ、又、お、お、

マ、イ、お、お、一、返、ハ、お、お、ハ、あ、ま、更、承、賜、書、と、い、ふ、お、お、マ、ハ、い、と、連、つ、ち、あ、り、

の、バ、序、ハ、七、步、成、章、と、ハ、い、つ、り、さ、く、我、の、の、よ、つ、り、ま、と、俗、の、甲、下、ハ、

且奉不次といふ

不遺下賤、頻惠德音、英雲星氣、逸調過人、智水仁山、既、醞、  
琳瑯之光彩、潘江陸海、自坐詩書之廊、廟、騁、思、非、常、託、情、  
有理、七步成章、數篇滿紙、  
徳者莫遣、英ハ、白雲、皆、毛、詩、

わ、つ、英、雲、星、氣、古、本、英、雲、星、送、と、い、い、づ、れ、あ、ら、う、さ、ら、ぶ、一、逸、調、ハ、さ、ら、  
の、も、く、れ、ら、る、こ、智、水、仁、山、ハ、論、語、ニ、よ、れ、玉、湖、中、之、琳、瑯、と、世、説、ニ、あ、り、人、



毛乎  
ノ誤

才よよよ、潘岳陸機又才六のよなるき文人もく、江海ハも才の大ききもの  
あつたよんや詩書に廊廡といふは身と道藝の中あましくたまれぬ  
こと七歩ハ魏の曹子建のあつたや、文作りのことやうたつたことりよ、  
巧遣愁人之重患能除、懲者之積思、山柿詩泉比此如茂、  
彫龍筆海粲然得看矣、方知僕之有幸也、敬和歌其詞云、  
秀泉ハまじくあつたよよよ、此此如茂ハ人まる赤人も及ばぬ、  
彫龍ハ史記よよ、文彩のこまやのなる、筆海ハ李善の上表、汲冢前脩  
之筆海といふ、粲然ハあましくあつたよ、  
憶保枳美能彌許等可之古美安之比奇能、夜麻野佐婆良  
おほきみのみことかこみあしびきのやまぬさへら  
受安麻射可流比奈毛乎佐牟流麻須良表夜奈爾可母能  
をあまごのるいあをさむるますらをやあふのもの

余ハ余  
ノ誤

良下之  
久ノ誤

毛布安乎爾余之、奈良治伎可欲布多麻豆佐能、都可比多  
もよあをによしならぢきのよよ、たまづきのつうしよ、  
要求也、已母理古非伊伎豆伎和多利也、多毛比余、奈氣可  
えめやこもわこひいきづきわくちしひよ、あげの  
布和賀勢伊爾之、弊由伊比都藝久良之餘、乃奈加波可受  
よわのせいふしへゆいひつぎくらくよのなへのさ  
奈枳毛能賀、奈具佐牟流、已等母安良牟等、佐刀妣等能、安  
あきものあまごさむることもあるむとさとびとのあ  
禮爾都具良久、夜麻備爾波、佐久良婆奈知利、可保等利能、  
れよつぐらくやまびふはさくらむあちやのうがごの  
麻奈久之婆、奈久春野爾須美禮乎、都牟等之路、多倍乃蘇  
まなとーばまぐもるのよよ、みれをつむとーろさ一のそ



泥乎利可弊之久禮奈為能安可毛須蘇妣伎宇登賣良波  
でをうのつーくれあゐのあのもすそびきをためらハ  
於毛比美太禮底伎美麻都等宇良吳悲須奈里己許呂具  
おしひみたれてさみまつとららごひすあやこくろぐ  
志伊謝美爾由加奈許等波多奈由比  
いざみよゆらふことハたあゆひ

やまのささぎの山野不傳心室を比奈毛の毛ハ平のほろぐとて  
あふのあふハ何ぞおぼややくさうよハ終焉とてらりうとハ  
てあるんまきまきとてうハ息衝めてよふ出きてわひハ  
余ハ余のほろぐとて久良之の文ハ久のほろぐとて下つた  
世の中ハうぐさきあふのうとて出年の敷かく程をまこと  
がへびのうりうりまきとていざあやとてしまで里人のほろぐ  
とていざあやとていざあやとていざあやとていざあやとて

のつー、古の神ハゆるぎなきを、橋よおほもを、ころぐハ  
くりるさ、考のおれま、こゝたを由比、等十三、あ垣の末のき  
こけく、果てゆる人あつげ、事考、柵知、等一、あしたを、  
たき、まて、まて、たま、いづれ、いづれ、いづれ、いづれ、  
伊比、おや、の、つ、た、ま、い、づ、れ、い、づ、れ、い、づ、れ、  
司、考、た、な、知、と、ま、き、い、づ、れ、い、づ、れ、い、づ、れ、  
ち、あ、ま、し、十三、の、考、の、柵、知、も、た、ま、い、づ、れ、い、づ、れ、  
集、中、こ、ま、け、こ、ま、け、こ、ま、け、こ、ま、け、こ、ま、け、  
詳、あ、ま、し、た、ま、い、づ、れ、い、づ、れ、い、づ、れ、い、づ、れ、  
や、や、う、ま、い、づ、れ、い、づ、れ、い、づ、れ、い、づ、れ、  
よ、よ、こ、ま、け、こ、ま、け、こ、ま、け、こ、ま、け、こ、ま、け、  
あ、ま、し、た、ま、い、づ、れ、い、づ、れ、い、づ、れ、い、づ、れ、







因流綴之不能所謂文章天骨習之不得也。雞彫ハ論語の宰

予カラスヨリテ早トシテ之ヲ神麻堂ハハノ園カスルニ腐毫ハハハ移ル

ノクシキヨリテ才乏クテ文化カクモウケズキトシテ忘得ハ成ノ干ル

トモカ知ルテ文ト考フ時トシテ因流ハ因循カノ語カ綴ク不

能ハハカクテ文化カクモウケズキトシテ文カクノトモハカレツキカ

トヨリテ神カクモウケズキトシテ早トシテ之ヲ神麻堂ハハノ園カスルニ腐毫ハハハ移ル

雅篇哉抑聞鄙里少兒古人言無不酬聊裁拙詠敬擬解

笑焉この詩は次教といつものものとオエーとて次教のあこはめトトシテ

國都里少兒或人ヨキマ一トシテ早トシテ之ヲ神麻堂ハハノ園カスルニ腐毫ハハハ移ル

如今賦言勒韻同斯雅作之篇

豈殊將石同瓊唱聲遊走曲歟抑小兒譬盪諛敬寫葉端

式擬亂曰唱聲遊走曲歟抑小兒譬盪諛敬寫葉端

化指一本謹也此以三十八字古也考一

七言一首

杪春餘日媚景麗初巳和風拂自輕來燕銜泥賀宇入歸

鴻引蘆迥赴瀛聞君嘯侶新流曲禊飲催爵泛河清雖欲

追尋良此宴還知染隩脚跣跣杪春ハ春ノ末ニハ進ヨク云

短歌二首

此の海さしてゆるを嘯侶ハ詔字ある新ハ親と信れる之良此ハ下上

とまらざるや此良宴とまらざる海隩ハ病と信れる之良此ハ下上

病と哀文と尋膏育之隩處欲顯二豎之逃避とまらざる跣跣ハ行不正貌



佐家理等母之良受之安良婆母太毛安良牟已能夜萬夫  
吉乎美勢追都母等奈

せけつしきらどーあらばむあらんこのやまぶらよとせつたひら  
たのきあふうつくうぶきを晴しちるごーそよのまらよとせつたひら  
さくもあんとそとんとんとつてけりえく痛ま部ておんるるま  
と致く也むハ黙のまのここと

安之可伎能保加爾母伎美我余里多多志孤悲家禮許曾  
婆伊采爾見要家禮

あーかきのちのよきこのよめたーいをれそいめふこえなれ  
一二の白ハ池の野あをまうういひくれこもりをなれがこことし

三月五日大伴宿禰家持卧病作之  
述戀緒歌一首并短歌

妹毛吾毛許已呂波於夜自多具弊禮登伊夜奈都可之久  
いせあれもこころハおやどたごへれどいやあつうーく  
相見婆登許波都波奈爾情具之眼具之毛奈之爾波思家夜  
あひこればとこもつたあよこるどーめぐーあーふえーけや  
之安我於久豆麻大王能美許登加之古美阿之比奇能夜  
ーあがおくづまおかきみのこことかーこあーびきのや  
麻古要奴由伎安麻射可流比太乎左采爾等別來之曾乃  
まこるぬゆきあまぞのるいあをさめふとわのれこーうの  
日乃伎波美荒璞能登之由吉我弊利春花乃宇都呂布麻  
ひのきいゝあらたまのこーゆきがーわえるをまのうつろよま  
泥爾相見禰婆伊多母須弊奈美之伎多倍能蘇泥可弊之  
でふあひみねばいたもまぶまこ志きたへのそでうー



都追宿夜於知受伊采爾波見禮登宇都追爾之夕太爾安  
つぬるよおちどいめみのみれどうつみしたぐみあ  
良禰婆孤悲之家口知弊爾都母里奴近在者加弊利爾太  
らねバこひけくちへみつちぬちのくらがわみど  
仁母宇知由吉底妹我多麻久良佐之加倍底禰天蒙許萬  
おもうちゆきていもがたまくらさしうてねてもこま  
思乎多麻保己乃路波之騰保久関左閉爾弊奈里底安禮  
しをたまほこのみちいとほくせきさへまなりてあれ  
許曾與思惠夜之餘志播安良武曾霍公鳥來鳴牟都奇爾  
こそよとをやしよしあらむぞほとぎさきあうんつきよ  
伊都之加母波夜久奈里那牟宇乃花乃爾保弊流山牟余  
いつしのもをやくちりちんうのをあのかつるやまをよ

曾能未母布里佐氣見都追淡海路爾伊由伎能里多知青  
そのともふとさけみつあよこぢいゆまのわちあを  
丹吉奈良乃吾家爾奴要鳥能宇良奈氣之都追思多德爾  
によあらのわぎくぬえどまのうらあけしつちさごひよ  
於毛比宇良夫禮可度爾多知由布氣刀比都追吾牟麻都  
おもひうらぶれうどふさちゆふけとひつあをまつ  
等奈須良牟妹宇安比底早見牟  
とあすらんいもをあひてもやまむ

このちやどこれごとく心か因り副とて天智紀童謡たまふぬくとき  
於野見をふぬくともとこをうたはるまゆ花のみとくんぐりあぐ  
しやいんぐりく思ふもあぐりて苦しくなりつものもあふ  
りよと九流岐山難尋舎のあよこのはめぐりちさそとあむ



昔五のめぐりつていつとては是もまがしうちかれ、おつづま、あつよつと  
よあるにほつちをとりよ、そつゆつちまき、やまこえぬゆき、山を越せよ  
り、その日のまはつ、別せ一日をかきうあつりさつこ、よまかつらひて  
く日のまきのみとま、いよ、甚し、事十に浪のちの伊多夫良之毛、事十一  
甚振浪、ちよより、たよあねび、直ちの事、よあねび、及あまは  
詞、くうあつふも、うちひて、事六、せきま、かつあつ、よあつちめ  
て、妹、く、枕、まき、ねま、を、よ、あ、つ、倍、よ、ま、ご、り、ま、が、や、路、波  
之の之、脚、解、又、波、之、間、の、ま、の、一、ま、う、て、あ、れ、こ、ま、く、白、と、ま、ご、  
痛うてあねび、こそ、ゆゆのね、と、ま、を、花、め、り、あ、よ、あ、ん、ぞ、お、あ、る、  
よ、い、あ、ん、ぞ、あ、つ、ち、ま、い、れ、の、ち、ち、あ、ま、い、ぬ、え、ま、の、こ、ま、け  
し、く、ま、一、事、十、五、重、敷、と、ま、あ、つ、知、り、ま、ご、い、よ、ま、あ、と、信、と、  
る、ま、ん、妹、と、い、吾、を、待、て、指、渡、し、し、り、之、事、二、扶、と、ま、て、大、事、世、流

あつち、ま、の、こ、ま、を、つ、ま、せ、る、の、詞、と、同、く、度、さ、す、の、古、語、へ、安、比、て、あ、ん、宙、使、て、と、ま、  
附、合、つ、ま、ん、を、次、の、反、身、の、安、比、の、二、字、を、ま、じ、つ、れ、ば、信、れ、て、か、な、れ、る、ち、あ、つ、  
安良多麻乃登之可弊流麻泥安比見禰婆許已呂母之努  
爾於母保由流香聞  
あらまのこかつるまであひみねばくろくちぬふおほほゆるこのも

まぬハ善

奴婆多麻乃伊采爾波母等奈安比見禮騰多太爾安良禰  
婆孤悲夜麻受家里  
ぬづまのいぬあはれまあひこれだたよあらねばくろいやまどけい  
右のまあよいつとていつち返してよあり、まやまがたり、まやまがたり、まやまがたり、まやまがたり、  
安之比奇能夜麻伎弊奈里底等保家騰母許已呂之遊氣  
婆伊采爾美要家里



あしびきのやまきしありてふけけくろくゆけはけふみえけ

山とすまうはりて遠くをいふ

春花能宇都路布麻泥雨相見禰婆月日餘美都追伊母麻  
都良年曾

くさばあふろふまをんあひこねづきひよみつふりまつらんぞ

うろふはあふろふまをんあひこねづきひよみつふりまつらんぞ

右三月二十日夜裏忽兮起戀情作大伴宿禰家持

立夏四月既經累日而由未聞霍公鳥喧因作恨歌二首

作恨ハト上ヨリ

安思比奇能夜麻毛知可吉乎保登等藝須都奇多都麻泥  
爾奈仁加吉奈可奴

あしびきのやまきしありてふけけくろくゆけはけふみえけ

つきはつまがけの三月のつちよ四月の節はつちよとてあふ立夏とていふれん今  
つちよとてつちよ朝日よかぎれん古はさあわん

多麻爾奴久波奈多知婆奈乎等毛之美思己能和我佐刀  
爾伎奈可受安流良之

たまたぬくもあつちばなをとせりみこのつちよにきあひのすあふらん

とせりみこのつちよにきあひのすあふらん

霍公鳥者立夏之日来鳴必定又越中風土希有橙橘也

因興大伴宿禰家持感發於懷聊裁此歌 三月二十九日

和名橙 安倍太 知波奈 似袖小也 三月廿九日のつちよを本を初とせり古本小字

よかづきふらん

二上山賦一首 此山者有射水郡也

今本此山まきの八字とありとせり古本  
小字ろくをよとす有ハ在の語賦とあるは名を看のま下よりゆ賦



一首の7并短哥とるべし

伊美都河泊伊由伎采具禮流多麻久之氣布多我美山者  
いみづのちいゆきめぐれるたまくりげふごみやまハ  
波流波奈乃佐氣流左加利爾安吉乃葉乃爾保弊流等伎  
はるちあのさけるさかりふあきのものおほつるとき  
爾出立底布里佐氣見禮婆可牟加良夜曾許婆多敷刀伎  
にぞたちてふりさけられバかんぢらやそこばたふとき  
夜麻可良夜見我保之加良武須賣加未能須蘇未乃夜麻  
やまのらやみぢほしをらむをめぐみのそそみのやま  
能之夫多爾能佐吉乃安里蘇爾阿佐奈藝爾餘須流之良  
のちぶしふのさきのあまそふあさふぎよよもるしら  
奈美由敷奈藝爾美知久流之保能伊夜麻之爾多由流許

あみゆふなぎふみちくるまほのいやまふたゆるこ  
登奈久伊爾之弊由伊麻乃乎都豆爾可久之許曾見流比  
とちくいふしゆいまのをつよのくしこそみるひ  
登其等爾加氣底之努波采  
とごとくにのけてしぬバめ

いんばゆきめぐれるはらのちひるんそごもこをくふくをきこと  
ま二國のうのこれいあぬれがのこれうまきとあまめれ  
まそみの山のち友寄よいついぬちゆちをちあまれ代まれの  
此心を愛ゆひり古のゆきをのちをそこの進ゆく愛ささうん  
と翁の流せんと極うたうどやそそみハ流波孫のそそ廻の田居と  
いつるぬく二上山の藤のまぶ谷といひささうんそのれハ山とれと  
してそこのをそこのまぶにといひささうんかきいつるさうんまぶにハ二上



山をき地名もさるべし、船をぎよつたやういやまふといへん、船のうやのや  
あり、そつて、うつ、ふ、い、ま、の、遠、都、豆、よ、た、よ、と、き、ろ、う、わ、く、よ、あ、り  
之、夫、多、爾、能、佐、伎、能、安、里、蘇、爾、與、須、流、奈、美、伊、夜、思、久、思、久  
爾、伊、爾、之、弊、於、毛、保、由

ま、あ、う、の、そ、き、の、あ、り、そ、ふ、よ、す、る、あ、い、や、ま、く、い、ふ、い、ふ、い、(お、れ、あ、ゆ  
此、の、ま、い、り、へ、り、わ、ゆ、と、よ、う、く、は、げ、し、よ、つ、さ、つ、て、は、は、は、へ、ち、り、や、り、い、の  
又、付、ま、感、じ、て、か、く、い、つ、る、れ

多、麻、久、之、氣、敷、多、我、美、也、麻、爾、鳴、鳥、能、許、惠、乃、孤、悲、思、吉、登、岐  
波、伎、爾、家、里  
た、ま、く、げ、く、が、み、や、ま、ふ、あ、く、と、ま、の、い、ち、あ、の、い、ま、よ、ま、い、ま、い、け、り

右三月三十日依興作之大伴宿禰家持

万解十七下 十一

四月十六日夜裏遙聞霍公鳥喧述懷歌一首

奴、婆、多、麻、能、都、奇、爾、牟、加、比、底、保、登、等、藝、須、奈、久、於、登、波、流  
氣、之、佐、刀、騰、保、美、可、聞  
ぬ、が、い、ま、の、つ、き、ふ、む、い、ひ、て、ほ、と、ぎ、り、あ、く、お、と、は、る、ん、と、さ、く、り、か、り

月、の、物、さ、う、ま、ゆ、り、く、ま、く、る、の、あ、ま、き、こ、ゆ、い、ま、居、る、里、よ、う、遠、く  
一、て、あ、と、い、ふ、ん

右大伴宿禰家持作之 え、唐、か、右、の、下、一、首、の、ま、ろ、う

大目秦忌寸八千島之館、饒守大伴宿禰家持、宴歌二首

大、目、秦、忌、寸、八、千、島、之、館、饒、守、大、伴、宿、禰、家、持、宴、歌、二、首  
大、目、能、守、美、能、意、吉、都、之、良、奈、美、志、苦、思、苦、爾、於、毛、保、要、武  
可、母、多、知、和、可、禮、奈、波

な、あ、ら、み、の、お、き、つ、ら、あ、ま、さ、く、い、よ、お、れ、あ、え、ん、う、ら、た、ち、わ、り、あ、は、  
な、あ、ら、み、の、お、き、つ、ら、あ、ま、さ、く、い、よ、お、れ、あ、え、ん、う、ら、た、ち、わ、り、あ、は、

奈、美、の、越、中、あ、ま、さ、く



我加勢故波多麻爾母我毛奈手爾麻伎底見都追由可牟  
牟於吉底伊加婆乎思

わのせこいたまふしのもちてよまきこみつゆりんとおまきこいのばを

そはあぢのくくあかしのほくと和我とそりぐかくトよまきこ

ちんいのはゆふこ

右守大伴宿禰家持以正稅帳須入京師仍作此歌聊陳

相別之歎 四月二十日

四月二十日の夕ふかきけさか小字ちんいよ

遊覽布勢水海賦一首 并短歌 此海者有射水 郡舊江村也 有在のほこ

物能乃敷能夜蘇等母乃乎能於毛布度知許已呂也良武等宇

ものよのやそとものをのおひよどらこるやらんと

麻奈尔底宇知久知夫利乃之良奈美能安里蘇爾與湏流之夫多

まぢめてうちとちよりのまらまこのありそふよするまふた

爾能佐吉多母登保理麻都太要能奈我波麻須義底宇奈

小のせきたもとちまつづえのちのはまそきてうま

比河波伎欲吉勢其等爾宇加波多知可由吉加久遊岐見

ひがはきよきせごというのはたちかゆきらくゆきこ

都禮騰母曾許母安加爾等布勢能宇彌爾布禰宇氣須惠

つれどもろこもある小とよせのうみ小ふねうけすを

底於伎弊許藝邊爾已伎見禮婆奈藝左爾波安遲牟良佐

ておきへこぎへみこぎいれバまきさよハあぢむらさ

和伎之麻末爾波許奴禮波奈左吉許已婆久毛見乃佐夜

わきましまし小ハこぬれをまきこくばくもみのさや

氣吉加多麻久之氣布多我彌夜麻爾波布都多能由伎波

けきうたまくとげふさのみやまねをよつこのゆきハ







山字のり

敬和遊覽布勢水海賦一首并一絶

と一絶といふる

とあつ賦とちうり

布治奈美波佐岐底知里爾伎宇能波奈波伊麻曾佐可理  
 ふぢぢいハヒサキテチリハキウノモハハイマフサノワ  
 等安之比奇能夜麻爾毛野爾毛保登等藝須奈伎之等與  
 とあーいきのやまよもぬよもほとぎもあきしとよ  
 采婆宇知奈妣久許已呂毛之努爾曾已乎之母宇良胡非  
 めばうちぢびくろくろもーぬふそをーもうらこん  
 之美等於毛布度知宇麻宇知牟禮底多豆佐波理伊泥多  
 しみとおもよどちうまうちむれてたづさをりいで  
 知美禮婆伊義豆河泊義奈刀能須登利安佐奈藝爾可多

底元五  
三作下向

ちこれバいみづがもこあとのあどりあそまぎよか  
 爾安佐里之思保養底婆都麻欲比可波須等母之伎爾義  
 にあさどしとほみてつまよびのたままよまよこ  
 都追須疑由伎之夫多爾能安里蘇乃佐伎爾於枳追奈義  
 つ、すぎゆきまよたかのありうのさきよおきつあこ  
 余勢久流多麻母可多與理爾可都良爾都久理伊毛我多  
 よせとるたまよかよよりよのつらよつくりいもがこ  
 采底爾麻吉母知底宇良具波之布勢之義豆宇彌爾阿麻  
 めてよまきもちてうらぐハハよせのみづらみよあこ  
 夫禰爾麻可治加伊奴吉之路多倍能蘇泥布理可邊之阿  
 ふぬふまのぢのいぬきしるのそでふさのーの  
 登毛比底和賀已藝由氣婆宇布能佐伎波奈知利麻我比







攝ラ極  
二誤下月

餞ヲ錢  
二誤

佐下今  
等字有  
ハ誤

許武吉欲伎波麻備乎

さくらみのおせくらたまよあひびもつぎてみこんたはまのまはらび

たまよいふ藤へああひびもハ我世久しき間をりもよびハ候方ハ

右掾大伴宿禰池主作 四月廿六日 追和 此七字ハ本在初とせり

古本小字より

四月二十六日掾大伴宿禰池主之館餞税帳使守大伴

宿禰家持宴詞并古歌四首 古本并下五字あり

多麻保許乃羨知爾伊泥多知和可禮奈婆見奴日佐麻禰

羨孤悲思家武可母

たまほこのこらひいでくらわれあひみぬいひまほこいひけんのも

とまねハ数多と改出佐の下ハ本等の字とハ原ハよきよとあり

一云不見日久彌慮之家牟加母

万解十七下 十六

右一首大伴宿禰家持作之

和我勢古我久爾弊麻之奈婆保等登藝須奈可牟佐都高

波佐夫之家牟可母

わがせこのくぬまおほほくぶ子あうんそつきハセーけんのも

税帳使よりつ困の奈良いふまなび

右一首今内蔵忌寸繼麻呂作之

安禮奈之等奈和備和我勢故保登等藝須奈可牟佐都高

波多麻乎奴香佐禰

あれあーとちわびわのせこわんけらたのんからたひんけらたのん

わんけらとくほろもろれんちまほろもろれんちまほろもろれんち

さねいぬのせとせりて

右一首守大伴宿禰家持



石川朝臣水通橘歌一首

和我夜度能花橘乎波奈其米爾多麻爾曾安我奴久麻多  
婆苦流之美

わのちどのこあたうぶるをばあごめいたまあであのぬまうぶるこ  
これハ古のあまのうたのうたにひこれハ此時通しうるまらん花ごめハ  
伊勢が根ごめハ風のあまこさるんとよあるここの詞のゆく花をふ  
といふこ

右一首傳誦主人大伴宿禰池主云爾

守大伴宿禰家持館飲宴歌一首 四月二十六日

美夜故弊爾多都日知可良久安久麻底爾安比見而由可  
奈故布流比於保家年  
みやこべみんつらうづくあくまごふあひしてゆのまこしおぢらん

立山賦一首并短歌

此山者有和名抄新川尔布加波有ハ在の語

此山あま多知やまといふとこハたてしといふ

安麻射可流比奈爾名可加須古思能奈可久奴知許登其  
あままのるひあふなうのまのくぬちことご  
等夜麻波之母之自爾安禮登毛加波波之母佐波爾由氣  
しやまハしもまバふあれどもかちしもさをふゆけ  
等毛須賣加未能字之波伎伊麻須爾比可波能曾能多知  
どもまめがこのうしをきいままにひのそのとち  
夜麻爾等許奈都爾由伎布理之伎底於婆勢流可多加比  
やまふとこあつふゆきあかりきておどせるかこのひ  
河波能伎欲吉瀬爾安佐欲比其等爾多都奇利能於毛比



かばのキよませふあせよひごとふたつきりのおかひ  
 須疑米夜安里我欲比伊夜登之能播仁余增能未母布利  
 さぎめやありがよひいやどーのもふよろのこもわり  
 佐氣見都余呂豆餘能可多良比具佐等伊未太見奴比  
 さけみつよるづよのかしらひとせといまぶこぬし  
 等雨母都氣牟於登能未毛名能未母伎吉底登母之夫流  
 とみしつぐんおとのこもまのこもきてとてしふる  
 我禰  
 がね

名ふす名を輝やまふ井代紀星神と天香背男又か火赤酸母  
 いたかの詞は甲下のかと隔てし室をのま懸て人ふを  
 赤名よかせるを川とよめるも赤名を女の赤名よかせる又紀の園

の園懸神を甲下ていひまされまつとよるを名よけてま  
 よへといふも古きままていひまされまつとよるを名よけてま  
 下まてくのあつて下くぬちハ國內まで神才の園内をいひま  
 てままこころいひまゆけまはまき流外けまのままこころい  
 とこままに流るのむまをまてこころいひまゆけまのままこ  
 こころいひまゆけまのままこころいひまゆけまのままこ  
 こころいひまゆけまのままこころいひまゆけまのままこ  
 こころいひまゆけまのままこころいひまゆけまのままこ  
 の川のなまあせよまのいひまゆけまのままこころいひま  
 流るの絶ゆるまのいひまゆけまのままこころいひまゆけま  
 かこころいひまゆけまのままこころいひまゆけまのままこ  
 流るまのいひまゆけまのままこころいひまゆけまのままこ



多知夜麻爾布里於家流由伎乎登已奈都爾見禮等母安  
可受加武賀良奈良之

たちやまふしあひらゆるゆきをともとあつよこいしあうまかんがらふらう

あうまをくろいかんぐちるい津かまあまらうとらう

可多加比能可波能瀬伎欲久由久美豆能多由流許登奈  
久安里我欲比見年

かこいこののせきよくゆくづのたゆるとあくあわがよひこん

しゆのみくしよとあわ

四月二十七日大伴宿禰家持作之

敬和立山賦一首并二絶

阿佐比左之曾我比爾見由流可無奈我良彌奈爾於婆勢  
あやいせしうがひよみゆるかんあがらみあよひいせ

流之良久母能知邊乎於之和氣安麻曾曾理多可吉多知  
るしらくものちへをわけあまぞりたのきたち  
夜麻布由奈都登和久許等母奈久之路多倍爾遊吉波布  
やまよゆあつとわくこととあくとるしよゆきいよ  
里於吉底伊爾之邊遊阿理吉仁家禮婆許其志可毛伊波  
りおきていふしへゆありきふければこばしものいそ  
能可牟佐備多末伎波流伊久代經爾家牟多知底為底見  
ののんせびたまきあるいくよ一ふんたちとめて  
禮登毛安夜之彌禰太可美多爾乎布可美等於知多藝都  
れともあやしみねたのみたふをよのみとちたぎつ  
吉欲伎可敷知爾安佐左良受綺利多知和多利由布佐禮  
きよきかよちふあせしらすきりたちとよゆいせれ











れさるきみハあれども。たまぼこの。そちゆえわれハ  
良久毛能多奈妣久夜麻乎伊波禰布美古要弊奈利奈婆。  
らくものたあびくやまをいそねふこえへありあバ。  
孤悲之家久氣乃奈我氣牟曾則許母倍婆許已呂志伊多  
こひけくけのあづんぞそこハバ。ころーいた  
思保等登藝須許惠爾安倍奴久多麻爾母我手爾麻吉毛  
しほと。ぎすこをふあへぬくたまふもがてよまきこ  
知底安佐欲比爾見都追由可牟字於伎底伊加婆乎思  
ちてあてよひふみつ。ゆうんを。おきていうをを  
うまかぎ。枝何。か。う。う。枝。ん。や。つ。の。木。の。い。や。ぎ。く。と。な。れ。と  
れ。ま。こ。と。を。合。え。て。天。付。氏。の。代。を。し。ま。う。る。金。持。を。幹。し。比。ま。と。枝。と。  
し。て。よ。る。ち。ん。お。や。ハ。同。ド。と。と。ま。え。ハ。常。變。や。く。常。變。と。お。た。天。れ

どハ同ド。ふおつれハ。秋。夕。の。木。の。た。葉。よ。う。う。う。て。常。變。を。い。ひ。て。  
比。ま。と。思。う。ま。と。し。も。あ。ひ。て。こ。と。い。ハ。舍。物。言。ふ。あ。の。風。ハ。此。下。の。三。つ。の。  
注。ハ。越。俗。語。東。風。謂。之。安。由。乃。可。是。也。と。あ。り。そ。こ。を。し。の。し。ハ。助。辯。う。て  
それをとし。と。す。く。ま。れ。お。こ。と。ハ。次。の。ち。あ。こ。を。を。團。の。こ。と。と。り。  
か。ち。て。し。り。さ。同。ド。く。官。事。を。う。け。ま。り。て。し。り。さ。こ。お。れ。る。ま。き。と。あ。れ  
ど。ハ。君。の。お。ん。れ。て。を。お。し。ハ。あ。れ。ど。し。り。さ。こ。ま。あ。り。ま。ハ。越。隔。け  
の。ま。う。ん。ぞ。ハ。日。く。く。お。ん。と。し。り。さ。こ。そ。こ。り。び。それをお。ひ。ハ。こ。あ。り  
の。あ。ハ。あ。ハ。せ。の。約。ま。ん。ま。ハ。相。貫。と。ち。り。郭。こ。の。噂。は。枝。と。ま。れ。ハ。今  
合。考。と。い。り。お。き。て。ハ。置。白。し。比。ま。と。枝。と。を。を。を。  
和我勢故婆多麻爾母我毛奈保等登伎須許惠爾安倍奴伎  
手爾麻伎底由加牟  
わのせこいたまふものしちほとぎむこあよあぬきてよまきてゆうん



一考元二号  
二作

右大伴宿禰家持贈祿大伴宿禰池主 四月廿日

忽見入京述懷之作生別悲兮斷腸萬回怨緒難禁聊奉所  
心一首并二絶

安遠爾與之奈良乎伎波奈禮阿麻射可流比奈爾波安禮  
あをいよしなるをきをかれあまをあるひあふハあれ  
登和賀勢故乎見都追志乎禮婆於毛比夜流許等母安利  
どわのせこそみつしをればおしひやることもあり  
之乎於保伎美乃羨許等可之古美乎須久爾能許等登里  
しをおほきみのみことありこそをすく小のこしり  
毛知底和可久佐能安由比多豆久利無良等理能安佐太  
もちてわのくさのあゆひたづとりむらとりのあさだ  
知伊奈婆於久禮多流阿禮也可奈之伎多妣爾由久伎美

万解十七下ノサニ

ちいふハおくれこるあれやかあしきたびよゆきき  
可母孤悲無於毛布蘇良夜須久安良禰婆奈氣可久乎等  
のしこひんおしよろやあくらねハあげらくもと  
騰采毛可禰底見和多勢婆字能波奈夜麻乃保等登藝須  
どめもかねてみわ、せハうのをあやまのはとしぎす  
禰能未之奈可由安佐疑理能羨太流流許已呂許登爾伊  
ねのみしあうゆあさぎりのみごるうることふい  
泥底伊波婆由遊思羨刀奈羨夜麻多年氣能可味爾奴佐  
でい、いち、ゆ、し、み、と、あ、み、や、ま、た、む、け、の、あ、い、ふ、ぬ、さ  
麻都里安我許比能麻久波之家夜之吉美賀多太可乎麻  
まつりあがこひのまくもしけやしきみがたぐうをま  
佐吉久毛安里多母等保利都奇多々婆等伎毛可波佐受







まひ幣ハヒなつハヒハハヒ馴ハヒ看ハヒしハヒりハヒこハヒまハヒりハヒ親ハヒまハヒりハヒまハヒ回ハヒり

宇良故非之和賀勢能伎美波奈泥之故我波奈爾毛我母  
奈安佐奈佐奈見牟

うらこひしわがせのまこひなでこのたまふしごのあやまやまこひ

うらこひしわがせのまこひなで

右大伴宿禰池主報贈和歌 五月二日

思放逸鷹夢見感悅作歌一首并短歌

大王乃等保能美可度曾美雪落越登名爾於弊流安麻射  
にほきものとのみのみどぞみほきふるこいとふよおふるあまざ  
可流比奈爾之安禮婆山高美河登保之呂思野乎比呂美  
かるひさよあればやまたうるかかとほしるのをひろ  
久佐許曾之既吉安由波之流奈都能左加利等之麻都等

万解十七下 廿五

くさこそそまけきあゆをけるあつのをわとちまつと  
里鶴養我登母波由久加波乃伎欲吉頼其登爾可賀里左  
りうのひのとしはゆとのはのきよきせごとふのぐりさ  
之奈豆左比能保流露霜乃安伎爾伊多禮波野毛佐波爾  
しかつさいのほるつゆどもあきふいたればのもさを小  
等里須太家里等麻須良乎能登母伊射奈比底多加波之  
とりすだけりたますらをのとしいざあひてたのい  
母安麻多安禮等母矢形尾乃安我大黒爾大黒者蒼之良  
しあまうあれともやうをのあのおちくるま  
奴里能鈴登里都氣底朝猶爾伊保都登里多底暮猶爾知  
ぬりのまごころつけてあさかひいづつとあそゆふか小ち  
登理布美多底於敷其等爾由流須許等奈久手放毛乎知



どりふみとておあごとふゆるまことあくとたをちんをち  
母可夜須伎許禮乎於伎底麻多波安里我多之左奈良弊  
しかやをきこれをおきてまたありがごとしさあらづ  
流多可波奈家牟等情雨波於毛比保許里底惠麻比都追  
るたのハなぐんとそろふおほひほこりてままひつ  
和多流安比太雨多夫禮多流之許都於吉奈乃許等太雨  
わくるあひだまたざれたるまぐつおきあのことだふ  
母吾雨波都氣受等乃具母利安米能布流日乎等我理須  
もこれふいつげぶとのぐもあめのよるひをとがらす  
等名乃未乎能里底三島野乎曾我比爾見都追二上山登  
とふのこをのりてみまぬとそづいふつあつこのやまと  
妣古要底久母我久理可氣理伊爾伎等可弊理伎底之波

びてえてくもがくわかけこいみきとら一わきでま  
夫禮都具禮呼久餘思乃曾許爾奈家禮婆伊敷須弊能多  
ぶれつづれをくよしのろこふまけれどいよゆべのた  
騰伎乎之良雨こ雨波火佐倍毛要都追於母比孤悲伊伎  
ときをいらねころまひさへもえつおもひこひいき  
豆言安麻利氣太之久毛安布許等安里也等安之比奇能  
づきあまりけたしくもあふことあやとあーびきの  
乎底母許乃毛雨等奈美波里母利弊乎須惠底知波夜夫  
をてもこのもふとあをちもまべををてちはやふ  
流神社雨底流鏡之都雨等里蘇倍已比能美底安我麻都  
るかのやしろふてるかこちづふとちそへこひのてあがまつ  
等吉雨乎登賣良我伊米雨都具良久奈我古敷流曾能保























多知夜麻乃由吉之久良之毛波比都奇能可波能和多理  
瀬安夫美都加須毛

たちまのゆきーくらもまひつきのかそのわらせあづみつのま

まらりーハの言のまおてハ解る一宣き雪一のハゆ解てくら

ーハハ解りしハ消るをくとよめつりなれど、ま紀子居さうと訓は

あり又乾をふと訓はしあれハ消る古まハくといふまづーといふまのま

ハ言解ま水増して、まらるるの鏡まてつうすハつくと延々

赴參氣比大神宮行海邊之時作歌一首 神名帳能登国羽

昨郡氣多神社より比ハ多の字久良と誤字その

之乎路可良多太古要久禮婆波久比能海安佐奈藝思多

理船梶母我毛

まをちからたこえくれはくいのうもあまなぎーしあおねからもがも

神名帳羽昨郡志宇神社ありまを海ハそこ和名抄能登羽昨郡

昨郷あり

能登郡後香島津發船行於射熊來村往時作歌二首

松總本能の上邊の字ありい、華十六自肥前国松浦縣美弥

良久崎發船直射對馬渡海とあり和名抄能登郡加島加之能來

久万と有

登夫佐多底船本伎流等伊有能登乃島山今日見者許太

知之氣思物伊久代神備曾

ごまきたてふまぎるといふのこのままやまけくれはづらまけ

まもいこよかみびぞ

松以のまといふまを枕詞かといハ神まびを思きいり有ハ布の誤

香島欲里久麻吉乎左之底許具布補能可治等流間奈久



京師之於母保由

かまよわくまきをさうしてこころねのかせしるまふくみせしおしなゆ

鳳至郡渡饒石河之時作歌一首

和名抄能登國鳳至不布志

あつ風とく鳳志誤

伊毛爾安波受比左思久奈里奴爾藝之河波伎欲吉瀬其  
登爾美奈宇良波信底奈

いしふあはびしきくあちぬふぎいあきよきせとにいあさうらへてあ

みるうら水之占之神武紀天皇受の訓へのまふ天香山の埴とそて

八十平鏡天の手扶八十枚嚴鏡をつとらて、嚴鏡を以て丹生の川子

沈めて占ひませしるまも、歎ひの占ちへてしるまふいしふあはびしきく

を延くしるま十四むさやまうら肩やまきとあり

從珠洲郡發船還太沼郡之時泊長濱灣仰見月光作歌

一首

和名抄珠洲頂太沼郡といふ能登越中ふき、元房本太沼と

治布ゆはゆは布といふ事、藝仲云和名抄を考ふに羽咋郡太海之

あり、延槻河をわたりて羽咋郡の氣多大神言ふ治て能登郡より

鳳至郡ふしより、それより珠洲たまとむりて、又羽咋郡へ還らざる事、

これハ海郷二字を誤と沼郡とあせざる事、といふ、長濱ハ和名

抄氣登郡長濱奈加とあり、仰と今作誤、元房本此作の字あり

珠洲能宇美爾安佐比良伎之底許藝久禮婆奈我波麻能

宇良爾都奇底里爾家里

まのうまあとびらきしてこぎしかながはまのうらにつきてりまら

右件詞者依春出舉巡行諸郡當時所屬目作之大伴

宿禰家持

雜令凡公私財物出舉者

死鴛鴦晚吟歌一首



宇具比須波伊麻波奈可牟等可多麻底波可須美多奈妣  
吉都奇波倍爾都追

うぐひすはいまふんとがしまてばかすみたぢびきつきいへよつ  
かしまつハ片々終るそとて片まつふのまこと

造酒歌一首

奈加等美乃敷刀能里等其等伊比波良倍安賀布伊能知  
毛多我多采爾奈禮

なのとみのふとのつとごとしひをらあぢいぬちしたぢめになれ

古一神子なる酒ハ肴て醸し醸てそ醸ちぢらなるそ久ゆ神代紀大謨  
辭以云布汁能理斗いも神祇令中臣宣祝詞とある義解は謂宣者布  
也祝者贊辭也まゝ式凡祭祀祝詞者御殿御門等祭齋部氏祝詞以外諸  
祭中臣氏祝詞とありあぢいは酒と贖物ふして壽と祈り祝言よまれば

ヤコト人みそくよわかとてあゆまればははこもし誰あぞはがあふこそあれ  
とよまをまゝも人よ對ひてよまる也

右大伴宿禰家持作之







